

めあて
大工場と中・小工場について調べよう。

調べようと思っ、たき、かけ
社会が苦手だから社会の科目にしたか、たのと、授業中「大工場と中・小工場」の方かいはなんだろう、という疑問がでたから。

復習もこめて一度授業で習ったことも自学にまとめてたいな!

調べたこと

□ 大工場と中・小工場の違い
・働いている人が300人以上の工場は大工場。300人未満の工場は中・小工場といえます。

□ 工場の数
・全体：42万箇所
・大工場：約3千箇所 (0.7%)
・中・小工場：約42万箇所 (99.3%)

だいたい、もうほとんどが中・小工場!!

□ 働く人の数
・全体：784万人
・大工場：227万人 (29.0%)
・中・小工場：557万人 (71.0%)

□ 生産額
・全体：290兆7千億円
・大工場：148兆54億円 (51.1%)
・中・小工場：142兆20億円 (48.9%)

ほぼ半分!

□ 工程や製造する製品の違い
・大工場
・大きな設備が多く、中・小工場と比較して工程が複雑な製品を作ります。(例)自動車工場・科学工場

・中・小工場
・電化製品工場
・色々な種類を少量ずつ生産した場合には中・小工場で作ります。

まとめ

大工場と中・小工場は、どちらも日本の製造業には欠かすことができません。それぞれの特徴を生かし、日本の産業を支えていることが分かった。